

学校評価アンケート結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先般は保護者の皆様にはお忙しい中にもかかわらず学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございます。ここに保護者の皆様方にアンケートの集計結果の概要をお知らせしますとともに、教職員の自己評価につきましてもその概要をお知らせします。なお、明確になった教育課題につきましても、今後の教育活動に成果をあげられるよう、よりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも、ご協力・ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

2017年度 学校評価アンケート【保護者】 回答数 124

評価の高い項目
(そう思う、だいたいそう思う)の項目が90%を超えている)

- 学校の教育活動の目標やねらいが伝えられている。
- お子さんは、楽しく学校生活を送っている。
- お子さんは、学校で友達と仲良くすごしている。
- 学校は、開かれた学校づくりに努めている。
- 児童の様子や学校の取り組みがよく伝えられている。
- 学校は、地震・火事・台風・洪水・不審者への対応について、子どもへの指導や保護者への連絡ができています。

評価の低い項目
(あまり思わない、全く思わない)の項目が20%を超えている)

- お子さんは、将来の夢や目標を持って努力している。
- お子さんは、授業が楽しく、わかりやすいと言っている。
- お子さんは、毎日、家庭学習をしている。
- お子さんは、読書の習慣が身についている。
- お子さんは、自分の考えや意見を伝える力が身についている。

アンケート結果の考察

【保護者】

上記の6項目で、「そう思う」「だいたいそう思う」をあわせると、いずれもが90%以上という数値でした。お子さんの学校生活の様子や行事予定に関心を持ち、学年・学校だより、学校ホームページ等を通じて情報収集をしたり、参観授業や学年行事への積極的な参加をしたりしてくださっているようです。また、多くの保護者は、学校生活において子どもたちは、友達と仲よく楽しく過ごしていると感じてくださっているようです。

しかし、「あまり思わない」「全く思わない」のポイントが20%を超えた項目が上記の5項目でした。特に、授業が楽しくわかりやすいととらえている保護者の方のポイントが昨年度より13ポイント下がっています。お子さんの学力に大きく影響してくるものですので、学校全体としてわかる喜びや楽しさを感じられる授業改善を進めていかなければならないと考えています。また、低い項目には上がっていませんが、保護者の方や児童の相談に親身になって対応してくれるととらえている保護者の方のポイントが、10ポイントを超えて下がっています。学校教育を進めるにあたって、保護者の方との連携は必須です。相談しやすい体制づくりを進め、思いや願いをしっかりと受け止め、教育活動にあたることができるようにしていく必要があります。

【児童】

あいさつや言葉づかいの項目は、昨年よりポイントが上がっています。登下校時や地域活動でのご協力の成果だと思えます。また、自分の考えや意見を相手に伝える力は、将来、必ず必要となるものです。小学校段階から計画的に取り組み、子どもたちが自信をもって意思を伝えることができるようにしていきたいと思えます。

しかし、保護者の方の意見と同じように、相談に親身になって対応してくれるととらえている児童のポイントが12ポイント下がっています。安心して過ごせる学校となるように、お子さん一人一人の思いを受け止め、適切な対応をしていかなければならないと考えています。

【教職員】

昨年度と同じように、「あいさつや言葉づかい」「読書の習慣」「自分の考えや意見を伝える力」が保護者の学校評価と同じく課題としてあげられました。基本的な生活習慣の定着は、生徒指導上の目標の大きな柱です。今後も本校の教育課題として受けとめ、繰り返し指導を続けていきたいと思えます。また、基礎学力の定着、学力の向上に向けて常に取り組みを見直し、楽しく分かりやすい授業を通して、自分の目標をしっかりと持って未来を拓く子どもたちを育てていきたいと思えます。

今後とも、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。